

令和3年度 スキルアップ講習会

秩父市フットベースボール協会

会長 宮原 勇

審判長 青木 謙二

※共通事項

- フォースプレイの際は、野手の送球に対して直角の方向の位置にすばやく移動してジャッジを行う。
- フォースプレイの際に、タイミングはアウトでも野手の足がベースから離れていたためセーフの判定をしたことを、遠くにいる人にもわかるようにジェスチャーで示す。『オフ・ザ・バック』
- 走りながらジェスチャーをしない。プレイを予測しながら移動し、待ち受けてジャッジする。
- 塁間でのランダウンプレイ時は、ボールとランナーを意識してタッチプレイが見える位置まで移動する。
- コールの声が小さい。(クロスプレイ時は特に)

※主審

- 1回目の笛は、ネクストボックスの選手が認識しやすいように、選手の方を向いて動作を交えて鳴らしてあげる。その後、キッカーゾーンへ選手を招き入れる。
- 2回目の笛を鳴らした後は、キッカーの助走に併せて前進し(ファール、ファールボール)を監視する。(一、三塁のファールラインの判定は、際どい事があるのでホームベース付近まで前進することが望ましい)
- フェアライン付近に蹴られたきわどいボールの判定に関しては選手に聞こえるようにフェア、ファールのコールをする。
- 選手をキッカーゾーンに招き入れた後に、選手の真後ろには立たないようにする。(記録員が選手の背番号を確認しづらい為)
- キッカーの後方に立つ時など競技ラインの外に出ているケースがあるので競技ラインの中に立つように心がける。

※塁審

- 一、三塁の塁審はファールラインをまたいで構える。(ランナーがいる場合は、離塁の監視が出来る位置に移動する)
- 主審の2回目の笛が鳴ったら、腰を少し落として構えると良い。

- 主審がコール&ジェスチャー（アウトカウント、ファール、タイム）を行った際は、塁審も同じジェスチャーを行う。
- ボールの行方を追ってしまう傾向があるので必ずランナーの触塁を確認すること
- ランナーバックと帰塁を待つ塁審のジェスチャーの指導（原谷地区球技大会にて）

事例 1：ホームクロスプレイの際に、ランナーとベースカバーの守備者（ちびっこ）が交錯し守備者が転倒、その間に別の守備者が本塁ベースにボールをタッチし、ボールデッドとなったためランナーを三塁に戻した。

※ボール捕球動作に関係なく、走路に立っていたベースカバーの守備者に走塁妨害を宣告し、走者に安全進塁権を与える。

【関東フットベースボール規則】

[走者が安全に進塁できる場合]

第5項 走者が妨害を受け進塁を阻止された場合。（オブストラクション）但し、ボールを保持しタッチしようとしているか、蹴られたボールを守備している場合を除く。試合進行中なので、他の走者は進塁を継続でき、妨害された走者も次塁への安全進塁権を与えられて、その塁に触れた後は危険をおかして進塁することができる。

【関東フットベースボール「ルールについての勉強会」議事録】

◆走塁妨害（オブストラクション）の定義について

ボール捕球動作に関係ない選手についても、ベースが塞がれるなどの状況の時、走塁妨害を宣告する。

事例 2：一塁への送球が反れて外野方向にボールが転がっていき、境界線（エンドライン）を越えた際に主審が『1ベース』のコールを行った。

※エンドラインの確認も外野エリアは塁審がジャッジする。

塁審がベースから離れた際は、主審がランナーの触塁等を確認しカバーする。

【関東フットベースボール「ルールについての勉強会」議事録】

◆主審と塁審のジャッジ担当エリアについて

ダイヤモンド内は、主審がジャッジ。それ以外は、塁審がジャッジする。

さらに、エンドラインも内野エリアは主審、塁審が塁を超えたエリアをジャッジする。

事例 3：キッカーランナーが一塁ベース（オレンジ）に触れずに通過（空過）、その後帰塁する前に守備者が一塁ベース上で送球されたボールを捕球。この時点で一塁塁審が『アウト』をコールした。

事例 4：前のランナーが詰まってしまう 3 塁手前から帰塁する際、2 塁を踏まずに 1 塁に帰塁（8 メートルラインの様に帰塁）した。

※塁の空過はすべてアピール対応となっているので、当該プレイヤー及び監督からアピールがあった際にジャッジを行う。（ボールデッド後も可）

【関東フットベースボール規則】

[走者がアウトとなる場合]

第8項 試合進行中に正規に進塁・帰塁する場合に塁を空過したなら、走者が触れなかった塁上でボールを保持した場合、及びタッチされた場合。（アピールプレイ）

【関東フットベースボール「ルールについての勉強会」議事録】

◆塁空過のジャッジについて

空過、未達の解釈ではなく、塁の空過を審判が指示するのではなく、すべてアピールに対応する事で決定した。

その他

- ・ライン引き（内側に引くのはフェアラインと塁間を結ぶラインのみでそれ以外は外側に引く）
- ・コートに入れるのは監督・コーチ・スコアラーの3名まで（女性スコアラーがベンチの外にいるケースをよく見ます）